

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 29 年 8 月 17 日 (2017.8.17)

【公開番号】特開 2017-119919 (P2017-119919A)  
 【公開日】平成 29 年 7 月 6 日 (2017.7.6)  
 【年通号数】公開・登録公報 2017-025  
 【出願番号】特願 2017-31489 (P2017-31489)  
 【国際特許分類】

B 2 2 F 1/00 (2006.01)  
 H 0 1 G 9/052 (2006.01)  
 H 0 1 G 9/004 (2006.01)  
 C 2 2 C 1/04 (2006.01)  
 B 2 2 F 9/04 (2006.01)

【 F I 】

B 2 2 F 1/00 R  
 H 0 1 G 9/05 K  
 H 0 1 G 9/05 Z  
 C 2 2 C 1/04 E  
 B 2 2 F 9/04 C

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 19 日 (2017.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも  $1.5 \text{ m}^2 / \text{g}$  の B E T 表面積を有するタンタル粉末であって、前記タンタル粉末が電解キャパシターアノードに形成される場合に、 $20 \text{ V}$  の化成電圧 ( $V_f$ ) で化成され、かつ  $1400$  で  $10$  分間焼結されるとき、前記アノードは少なくとも  $190,000 \text{ C V} / \text{g}$  のキャパシタンスを有する、タンタル粉末。

【請求項 2】

前記タンタル粉末が、フレーク状、こぶのある、角張った、又はそれらの組み合わせである、請求項 1 に記載のタンタル粉末。

【請求項 3】

前記タンタル粉末が  $1 \sim 50$  のアスペクト比を有する、請求項 1 に記載のタンタル粉末。

【請求項 4】

前記アノードが  $190,000 \sim 285,000 \text{ C V} / \text{g}$  のキャパシタンスを有する、請求項 1 に記載のタンタル粉末。

【請求項 5】

前記タンタル粉末が  $1.5 \sim 8 \text{ m}^2 / \text{g}$  の B E T 表面積を有する、請求項 1 に記載のタンタル粉末。

【請求項 6】

前記タンタル粉末が  $1.7 \sim 8 \text{ m}^2 / \text{g}$  の B E T 表面積を有する、請求項 1 に記載のタンタル粉末。

【請求項 7】

前記タンタル粉末が少なくとも  $5 \text{ m}^2 / \text{g}$  の B E T 表面積を有し、前記アノードが  $2.0$  ,  $0.000 \sim 2.85$  ,  $0.000 \text{ C V} / \text{g}$  のキャパシタンスを有する、請求項 1 に記載のタンタル粉末。

【請求項 8】

請求項 1、4、5 又は 6 に記載のタンタル粉末を含む、キャパシターアノード。

【請求項 9】

前記アノードが  $5.0 \text{ n A} / \text{C V}$  未満の D C 漏れを有する、請求項 8 に記載のキャパシターアノード。

【請求項 10】

前記アノードが  $0.5 \sim 2.0 \text{ n A} / \text{C V}$  の D C 漏れを有する、請求項 8 に記載のキャパシターアノード。